

地域医療連携室だより

こんにちは！  
地域医療連携室です。



地域医療連携室では、近隣の病院や開業医、介護施設や行政機関等と密な連携を図っています。今回は大きな3つの役割について、令和元年度を振り返ってみました。

転院転入の窓口

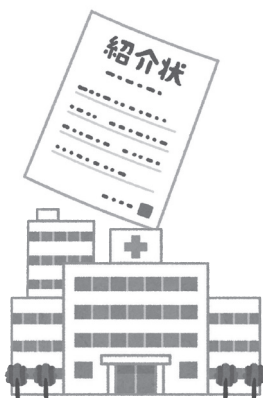
年間100件〜120件の

転入受け入れ

病床の状況を見ながら計画的に転入（他院から当院への受け入れ）調整を行っています。当院から紹介となった人や本町の人は、早期に受け入れるよう努力しています。今

年度も月10件前後の転入実績で、例年同様になっています。

また、外来においても、当院では対応困難な治療や、希望に沿って、県内外の医療機関への診療予約の手続きを行っています。病院の機能によつては紹介状や予約なしでは診てもらえない場合もありますので、気軽に相談ください。



入退院支援

今年度、281名（元年12月現在）

の人に退院支援

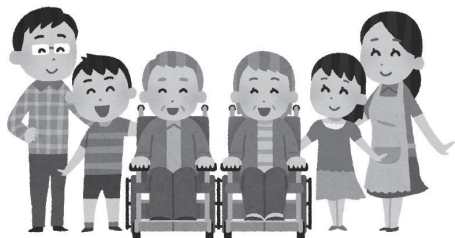
入院されることが決まった時から退院まで関わらせていただいています。

それは、「退院」だけを目標とするのではなく、「思いえがく生活の場に安心して戻る為の支援」と考えています。

「退院支援は人生の再構築を支援すること」ともいわれます。「もう一度あなたが望む生活の場で暮らす為の方法を一緒に考えましょう」というのが私たちの想いです。

中心となるのは「本人」そして家族ですが、介護を自分たちだけで抱えこんだり、社会から孤立したりすることがないように、利用できる制度の紹介をしています。

退院は家に帰ることだけではなく、その地域に帰ることもあります。今、この「地域に帰る」ということに重要な意味があり、その地域の特性や取組が、入退院支援で大事な情報となっています。



相談業務

対面・電話相談

月400〜500件

対面相談の多くは、退院支援としての介護保険サービスの内容についてです。電話相談では転院転入相談、外来紹介予約などの調整を多く行っています。

また、医療安全の相談窓口の役割もあります。不安や疑問等の意見や、病院への要望も受けつけています。

来年度には、相談窓口としての体制を整え、入院前からの関わりを外来の時点でもより丁寧に、また、相談を受けやすい環境となるよう、準備をすすめています。

